

高等部 1 学年

単元名	高 校 生 に な っ て	1 2 時間	4 月上旬～4 月下旬	
単元	<p>新入生にとって4月は学校や友達、先生が新しくなり、新しい学校生活への期待感が大きく膨らんでいる時期であり、高校生になったという喜びを十分に味わわせながら、新しい学校や友達について知らせ、自分自身について知らせるよい時期である。</p> <p>生徒たちは今までに幼稚園や小、中学校への入園・入学を経験していて、新しい学校への期待感は大い。しかし、期待感はあるが、近所の友達と離れて一人になってしまう不安感も大きく、自己内に閉じこもってしまったり、自分自身をうまく表現したりすることができず、友達と協力して行動することができないことも多く見られる。また、教師や友達についてあまりよく知らないため、自分の意思をうまく伝えられず消極的になってしまったりする。</p> <p>そこで、学級を基本とする集団の中でかわりを持たせ、新しい友達や先生について知らせることで、新しい学校に入学した喜びを味わわせる。このとき自分自身を十分に表現することができるように、ゆったりした雰囲気の中で自己紹介をさせるようにしていく。また、大まかな一日の学校生活の流れや決まり、一学級の行事などを知らせ、学級の友達や上級生と協力することの大切さを知らせていく。さらに、歓迎会に参加したり学部生徒会や児童生徒会について知ることで高等部の生徒としての自覚を高める。環境を整えながら、学校周辺の様子や、通学方法についても学習することで、地域社会に目を向けさせていく。</p> <p>このような学習を通して、高校生になった喜びや、頑張りたいという欲求を満たし、積極的に活動でき、友達と協力して活動しようとする態度を育てていくことができると考える。</p>			
目 標	<p>○ 自己紹介や抱負の発表などを通して入学の喜びを味わわせ、高等部の生徒として自覚を持って積極的に行動できるようにする。</p> <p>○ 高等部の生活や友達について知ることで、協力して活動しようとする態度を育てる。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 高等部の生活について調べる。 (1) 高等部の一日の生活の流れを調べる。 ・ タイムカード ・ あいさつの仕方 ・ 朝のランニング ・ 日課表、時間割 ・ 朝の会、帰りの会 (2) 友達や学習班の構成を知る。 ・ 自己紹介 ・ 高等部に入学した喜び		<p>・ 具体的な例を示しながら新しい高等部の生活への目安を持たせる。</p> <p>・ それぞれの実態に応じて自己紹介の方法を工夫し、自己自身で入学の喜びや抱負を表現できるようにする。</p>	<p>・ V Y R</p> <p>・ タイムカード</p> <p>・ 日課表</p> <p>・ 時間割表</p> <p>・ 学級名簿</p> <p>・ 作文用紙</p>	<p>国 5-5, 6</p> <p>数 5-5, 6</p> <p>道 1-(1)</p> <p>生・交 3-1, 2, 3</p>

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<ul style="list-style-type: none"> 希望や抱負 2, 3 年生の名前 先生の名前 学習班の構成 学級の目標 <p>(3) 身の整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 座席, ロッカー, 靴箱 学習する場所の確認 更衣室の利用の仕方 諸道具の整理・整頓 <p>2 歓迎会に参加する。</p> <p>(1) 歓迎会について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画 日時, 場所, 内容 学級での準備 係, レクリエーション お礼の言葉 <p>(2) 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の方法 レクリエーションの練習 <p>(3) 歓迎会に参加する。</p> <p>3 学部生徒会の改選をする。</p> <p>(1) 学部生徒会について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意義 仕事内容 <p>(2) 生徒会の役員選挙をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 立ち会い演説会, 投票 <p>(3) 児童生徒会について知る。</p> <p>4 環境を整える。</p> <p>(1) 学級園の手入れをする。</p> <p>(2) 学校周辺の様子を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2, 3 年生や先生方の名前を知らせ高等部の生徒であると同時に, 附属養護学校の生徒であることも知らせる。 高校生であることを自覚させ小学部, 中学部をリードしていく立場にあることに気付かせる。 個人で使う場所であってもみんなで生活する場所であることを知らせ, 他者を意識させながら気持ちよく生活できるようにする。 招待状の内容を調べ, 必要な準備や参加の仕方を工夫させ, 進んで歓迎会に参加できるようにする。 学級全員で協力してレクリエーションをしたり, それぞれの特技を生かした役割を決めさせたりして学級の一員であることを意識させる。 特技を生かした自己紹介やレクリエーションを準備することで豊かな自己表現ができるようにする。 一人一役の係を決めさせ, お互いが協力し合える場にする。 上級生から学部生徒会の組織について説明を受け, 高等部の一員として自覚させるとともに, 積極的に参加できるようにする。 学校内外の様子を知り, 環境を整えることで自覚を持たせ, 愛校心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標カード 班編成表 ネームカード 個人の持ち物 招待状 VTR 自己紹介カード カセット 目標カード 係, 当番表 組織表 ポスター たすき 投票用紙 投票箱 	<p>生・交 2-1, 2</p> <p>国 5-5, 6 社 4-11 道 1-(3) 道 2-(1) 道 4-(1)</p> <p>国 5-5 国 3-17 音 6-8, 9 国 2-5 社 4-13 道 2-(3)</p> <p>生・手 3 -2, 5, 11 生・仕 2-4 社 4-27 道 4-(6)</p>

高等部 2 学年

単元名		高校 2 年生になって		1 2 時間 4 月上旬～4 月下旬	
単 元 に つ い て	<p>4 月は 2 年生にとって進級した喜びとともに、新しく 1 年生を迎え中堅学年としての責任感や自覚を育てていくことができるよい時期である。また、昨年の経験を生かして学部行事や学校行事などに積極的に参加していこうとする意識も育てることができる時期である。</p> <p>しかし、生徒たちは新入生を迎え上級生として行動しなければならない場面があっても、今まで上級生からかかわられることが多く、行事などで積極的に自分からかかわっていく経験が少ないため、上級生としてリーダーシップをとりながら自主的、積極的に行動したり、下級生へ優しくかかわっていったりする 方法や手段を身に付けているとはいえない。また、新しい友達や先生を迎え、かかわり方に不安を感じたり、役割を果せなかったりすることも多い。</p> <p>そこで、学級集団の中で進級した抱負を発表させたり、一学期の行事計画を立てたりすることで上級生になった自覚を高め、自己表現の機会を持たせ進級した喜びを味わわせ、上級生になった自覚を高める。 また、新入生を迎える歓迎会を 3 年生と一緒に計画、立案させることで下級生へのかかわり方を身に付けさせるとともに、リーダーとしてのかかわり方や、友達と協力しながら活動する方法も身に付けさせていく。さらに、学部だけでなく学校の中の一員としての生活にも目を向けさせるために、学校内のちり拾いや側溝の掃除など奉仕的活動にも取り組ませる。</p> <p>このような活動を通して、学級内での仲間意識を高め、集団でのかかわりを増やしていくことができ、さらに、新入生歓迎会という行事を通して中心的役割を果たすことでかかわりを広げ集団参加意欲を高め、責任感や自主性、思いやりの気持も育てていくことができる。</p>				
	<p>○ 一学期の行事計画を立てたり、新しい学年について話し合うことを通して、進級の喜びを味わわせ、高等部の上級生としての自覚を高める。</p> <p>○ 新入生歓迎会や学部での係や役割を果たすことで、友達と協力して活動する態度や、見通しを持って取り組む態度を育て、下級生へ思いやりを持って接することができるようにする。</p>				
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点		準 備	関連内容
1 進級した抱負について話し合う。 (1) 前年度の行事を発表する。 ・ 心に残る行事 ・ 頑張ったこと (2) 新しい学年について話し合う。 ・ 一学期の行事 ・ 決意や抱負 ・ 上級生の役割 ・ 学級の目標		・ 行事や頑張ったことを発表させることで、お互いの活動を認め合わせ、新しい学年になり、更に頑張ることができるように動機付けをする。 ・ 今年度の行事について知らせ、中心となって活動していかなければならないことに気付かせ、決意や抱負を発表させる。		・ アルバム ・ V T R ・ 昨年の行事計画表 ・ 作文用紙 ・ 目当てカード ・ 行事計画 ・ V T R	国 5-5, 6 国 5-5, 6 道 2-(1) 道 2-(2) 道 2-(3)

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>2 新入生歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生や先生の名前 ・ 歓迎会の計画と内容 ・ 仕事分担 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 招待状作り ・ 会場設営 ・ プログラム ・ 出し物の練習 <p>(3) 歓迎会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行 ・ 後始末 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の歓迎会を振り返り、新入生を温かく迎えるために必要な準備について話し合わせる。 ・ 3年生と協力して計画、立案させることで自主性や責任感を育て自信を持たせ、協力する態度を育てる。 ・ 一人一人の適性に応じて係を決め、お互いに協力できるようにする。 ・ 3年生とも連絡をとり、中心的な役割を与え、司会や準備などを行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名簿 ・ 歓迎会計画表 ・ 招待状 ・ 仕事分担表 ・ 自己紹介カード ・ カセット ・ 係、当番表 	<p>生・交 3-1</p> <p>生・交 5-1</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2~4</p> <p>音 5-8, 9, 10</p>
<p>3 学部生徒会の改選をする。</p> <p>(1) 学部生徒会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ 仕事内容 <p>(2) 役員選挙をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち会い演説会 ・ 選挙、投票 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部生徒会活動の内容を反省したり、確認したりすることで、積極的に活動することが必要なことを分からせる。 ・ 選挙活動を通して全員が協力することが大切であることを分からせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織表 ・ ポスター ・ たすき ・ 投票用紙 ・ 投票箱 	<p>国 2-5</p> <p>社 4-13</p> <p>道 4-(1)</p>
<p>4 環境を整える。</p> <p>(1) 教室や学部を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示や展示の仕方の工夫 ・ 掃除区域 <p>(2) 学級園の手入れをする。</p> <p>(3) 学校の整備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級や学部、学級園や学校の環境を整えることで、学校の中心としても活動していかなければならないことに気付かせ、責任を持って活動させ愛校心を更に高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物 ・ 掃除区域分担表 	<p>生・手 3-2, 5, 11</p> <p>生・仕 2-4</p> <p>社 4-27</p> <p>道 4-(6)</p> <p>道 4-(4)</p>

高等部 3 学年

単元名	高校 3 年生になって	1 2 時間	4 月上旬～4 月下旬	
単元について	<p>最高学年になった喜びと同時に、学校生活での行事や委員会活動など責任のある立場になり、期待感や不安感を強く感じている時期である。また、学校生活も残り一年となり卒業への期待や不安も感じ始める時期でもある。</p> <p>3 年生は上級生が卒業し、自分たちが学校の中心として活動しなければならないことは分かっている、どのようにして下級生をリードしていけばよいのか、小学部や中学部の生徒にどのようにかわっていかばよいのか十分に理解しているとは言えない。また、様々な行事を経験し活動内容についてもよく知っているが、積極的に活動したり、下級生をリードしたりすることは少ない。</p> <p>そこで、一年間の主な行事計画を立てたり、目標の発表の場を持たせたり、上級生の役割について話し合いの場を持たせたりして、自己表現を高め、自分たちの役割について考えさせることで最高学年になった誇りと責任を自覚させ、積極的に活動することができるようにする。また、歓迎会の準備や、学部での係分担をする中でリーダー的な立場を準備し、他者の立場に立って行動する必要性にも気付かせていくことで、下級生と協力して活動できる態度を身に付けさせる。さらに、学校集団だけでなく将来の生活についても意識させるために、学校周辺のちり拾いやゴミ集めなどをさせることで地域社会にも目を向けさせていく。</p> <p>このような学習を通して、最高学年として自覚を持たせるとともに、責任感や自主性を育てていくことができる。また、他者の立場に立って行動することで、自分自身を見つめ直し、思いやりの気持ちを高め、集団の中で自己の役割を意識して活動することができるようになると考える。</p>			
目標	<p>○ 抱負を発表したり、年間の行事計画を立てたりすることを通して進級の喜びを味わわせ、最高学年としての自覚を持たせる。</p> <p>○ 新入生歓迎会や学部での係や役割を果たすことで、下級生と協力して活動する態度やリーダー性を育てる。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 最高学年になった抱負を話し合う。				
(1) 今までの行事を発表する。		・ 今までの行事を振り返り、お互いに頑張ったことを知らせ、最後の学年を精いっぱい頑張ろうとする態度を持たせる。	・ アルバム ・ V T R ・ 昨年の行事計画表	国 5-5, 6
・ 心に残る行事 ・ 頑張ったこと				
(2) 今年の目標を決める。		・ 最後の学年であることを意識させ、目標を決めさせる。このとき自分自身で気を付けるべきことや、もっと伸ばしたいことをはっきりさせる。	・ 行事計画表 ・ 目当てカード ・ 作文用紙	国 5-5, 6 道 1-(2) 道 1-(3)
・ 年間の行事計画 ・ 決意、抱負 ・ 最上級生の役割 ・ 学級の目標				

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>2 新入生歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生や先生の名前 ・ 歓迎会の計画と内容 ・ 仕事分担 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場設営 ・ 出し物の練習 <p>(3) 歓迎会を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後始末 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生と協力して計画を立てさせ、今までの経験をもとに2年生に助言することができるようにする。 ・ 会場経営や後始末などは協力してさせる。 ・ 新入生を温かく迎えることができるように出し物の内容を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名簿 ・ VTR ・ 写真 ・ 歓迎会計画表 ・ 招待状 ・ 仕事分担表 ・ 自己紹介カード ・ カセット ・ 組織表 ・ ポスター ・ たすき ・ 投票用紙 ・ 投票箱 	<p>生・交 3-1</p> <p>生・役 3-1</p> <p>道 2-(3)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2~4</p> <p>音 5-8, 9, 10</p> <p>国 2-5</p> <p>社 4-13</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 4-(3)</p> <p>生・手 3-2, 5, 11</p> <p>生・仕 2-4</p> <p>社 4-27</p> <p>道 4-(6)</p> <p>道 4-(7)</p> <p>道 4-(4)</p>
<p>3 学部生徒会の改選をする。</p> <p>(1) 新入生に学部生徒会の意義や内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ 仕事内容 <p>(2) 役員選挙をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち会い演説会 ・ 選挙, 投票 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年生に分かりやすく活動内容や意義を説明し、最高学年としてリーダー性を発揮できるようにする。 ・ 選挙の管理など自主的に活動させる。 		
<p>4 環境を整える。</p> <p>(1) 学級, 学部を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示や展示の仕方の工夫 ・ 掃除区域 <p>(2) 学級園の手入れをする。</p> <p>(3) 学校周辺の整備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下級生と協力して校内の環境を整えさせることで責任を持って活動させる。 ・ 下級生に対して優しくかわかわらせ、掲示や展示の工夫をさせる。 ・ 掃除区域の分担をさせることで学部を全員で整えようとすることができるようにする。 ・ 学部だけでなく学校全体の中心として活動させることでかわかり合う対象を広げていくようにする。 ・ 学校周辺の整備をすることで地域社会にも目を向けさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物 ・ 掃除区域分担表 	

高等部 2, 3 学年

単元名		修学旅行（隔年）		1 2 時間		5 月上旬～5 月中旬	
単 元 に つ い て	<p>修学旅行は、自分の住む地域と異なる自然や文化、産業を実際に体験できる機会であるとともに友達や教師とのかかわり合いを深め、学生時代の思い出として心に残るものである。</p> <p>高等部 2，3 年生は、これまでに臨海宿泊や公共施設の利用といった校外での学習を通して、身近な地域の自然や文化等に触れたり、集団や社会での自己の役割について学習したりして、社会生活への適応力に身に付けてきつつある。しかし、その地域は学校や家庭の周辺の地域に限られており、積極的に社会生活に参加しようとする態度も十分ではなく、さらに、自己の役割を最後まで果たそうとする態度も十分ではない。</p> <p>そこで、本単元においては、目的地の自然や文化、産業について調べたり、見学先や宿泊先といった旅行先でのマナーについて調べたりする活動を通して、いろいろな地域に対する興味・関心を高め、意欲的に修学旅行に参加しようとする態度を養っていく。また、それぞれの班のリーダーを中心に班活動での自分の役割を決めたり係の仕事内容を調べたりすることで、一人一人の役割を明確にし、集団や社会の中で自己の役割を果たそうとする態度を育てていく。さらに、しおりを作成したりそれを活用できるような場面を設定したりして、生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにするとともに、反省や報告会を行うことによって自己表現能力を高めていく。</p> <p>このような事前、事後の学習や実際の修学旅行を通して生徒は、仲間とのかかわり合いを強めながら新鮮な感動を体験することができ、現在及び将来の社会生活へ積極的に取り組む態度を培うことができると考える。</p>						
	目 標						
	<p>○ 目的地の自然や文化、産業などについての興味・関心を高め、意欲的に修学旅行に参加しようとする態度を養うとともに、旅行先でのマナーを身に付けさせる。</p> <p>○ リーダーを中心とした班活動や班を解いた全体での活動といった集団での学習活動を通して、集団や社会の中での自己の役割意識を高めさせるとともに、自己を表現する能力を高めさせる。</p>						
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点		準 備		関 連 内 容	
1 学習計画を立てる。		・ ビデオを視聴させることで、関心を高め、学習への意欲を高める。また、修学旅行の目的を考えさせる。		・ VTR ・ 写真		生・交 3-5	
(1) 修学旅行について知る。							
・ 前回のビデオを視聴する。		・ 学習計画を立てることで、旅行への見通しをもたせる。		・ 地図 ・ 計画表		数 5-5	
(2) 学習計画を立てる。							
・ 修学旅行の目的地を知る。		・ しおりは学習を進めながら記入したり旅行中に記入したり、はったりできるように工夫する。		・ しおり ・ ホッチキス		社 5-28	
・ 学習計画を立てる。							
2 しおりを作る。							
3 目的地について調べる。							
(1) 日程を調べる。		・ 地図や日程表を利用して理解させる。		・ 地図 ・ 日程表		社 5-28	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程 ・ 交通機関 ・ 見学コース ・ 宿舎 			社 5-16
(2) 班編成をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成に当たっては、集団構成の視点を明らかにし、班活動がスムーズに行われるようにする。 	・ しおり	社 5-6 5-8
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学コースでの班分け ・ 宿舎での部屋割 ・ 役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担に当たっては、一人一役を目指す。 	・ しおり	社 5-22
(3) 目的地の様子を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島との違いから、目的地の特徴に気づかせ、自然や文化、社会に関する興味・関心を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵はがき ・ 特産品 ・ パンフレット 	5-26 4-33 道 4-(7) 生・基
4 旅行の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班活動として取り上げ、調べさせる。 		3-36
(1) 準備するものを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおりを有効に使い調べさせる。 	・ しおり	生・金
(2) 持ち物の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に家庭と連絡を取り、みやげ品名や数量等を調べ、計画的な買い物ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みやげの模型、箱 	3-7 3-8
(3) 買い物の計画を立てる。		・ CD	音 5-9
(4) レクリエーションの練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班長を中心に生徒で計画、練習をさせ集団の中で自己を表現できるようにする。 	・ 歌詞集	
5 旅行先でのマナーを調べる。		・ しおり	社 5-1 5-2 5-6 5-8
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団行動 ・ 交通機関の利用 ・ 見学先でのマナー ・ 宿舎でのマナー ・ 健康面 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな場面を想定して生徒たちに演じさせることで、社会の中での自己の役割に気付かせる。 ・ 自分の健康面にも目を向けさせ、自己意識を高める。 ・ 班や係の活動を計画的に取り入れて、事前の学習が活かされるようにする。 		道 4-(1) 道 2-(1)
修学旅行に行く		<ul style="list-style-type: none"> ・ しおり ・ 日程表 	保 5-1 5-5
6 修学旅行の反省をする。		・ しおり	美 5-1
(1) 思い出を記録する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学地のスタンプや入場券等を整理させて思い出をまとめさせる。 ・ 他教科との関連を図りながら、絵や作文にしてみとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画用紙 ・ 作文用紙 	国 5-18
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵 ・ 作文 ・ しおりのまとめをする。 ・ 班ごとの反省をする。 			
(2) 報告会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生への報告会を行うことで、目的を果たした喜びを味わわせ、将来の生活に旅行を取り入れたいといった希望を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ みやげ 	国 5-4

高等部 1 学年

単元名	働 く 生 活 I	18時間	5月上旬～6月中旬	
単元	<p>高等部1年生は、高校生になったという意識や自分の係、家族の仕事、職場の仕事など様々な仕事についての興味・関心を持ちつつあり、こういった時期に高等部の学習の中心となる働くことに対する意欲を高めさせ、自分の将来に目を向けさせることは重要なことである。</p> <p>生徒たちは、自分の係が何であるか、家族の仕事、職場の仕事にどんなものがあるかは分かってくるにつれ、また校内実習、現場実習の言葉は知っている。しかし、自分の係の仕事、家族の仕事、職場での仕事、よりよく学校生活や家庭生活を過ごしたり、職場での自分自身の生きがいを見つけたりする上においてどのような役割を果たしているのか、また、なぜ様々な実習を今後体験するのか、実習における態度はどうあるべきかといった働くことについての具体的な内容については理解していない。そして、そのために生徒たちは、仕事を最後までやり遂げようといった働くことへの意欲や卒業後の家庭や社会の中での自分の生活への関心を持つまでに至っていない。</p> <p>そこで、本単元においては、自分の係、家族の仕事、先輩の仕事などについて調べたり、校内実習、現場実習の目標、仕事内容、態度などの学習をしたり、また実際に職場を訪問したり、実習に参加したりすることを通して、なぜ様々な実習を今後体験するのかといった働くことに関する具体的な内容を理解させ、最後まで仕事をやり遂げようといった働くことへの意欲を高めるとともに、卒業後の家庭や社会での自分の生活に関心を持たせていきたいと考える。</p> <p>これらの学習を通して、生徒たちは、学校や家庭での生活の中で、働くことへの意欲を更に高めていくであろうし、卒業後の自分の生活にも次第に目を向けるようになっていくものと考ええる。</p>			
目 標	<p>○ 家族の仕事や先輩の仕事などについて調べたり、仕事内容、目標、態度など実習に関する学習をしたり、また実際に職場を訪問したり、校内実習、現場実習に参加したりすることを通して、働くことに関する具体的な内容を理解させ、最後まで仕事をやり遂げようといった働くことへの意欲を高めるとともに、卒業後の家庭や社会での自分の生活に関心を持たせる。</p>			
主な学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 いろいろな仕事を調べる。</p> <p>(1) 自分の係や、家族の仕事を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">自分の係の仕事両親の仕事・兄や姉の仕事家庭での手伝い <p>(2) 先輩の仕事を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none">卒業先の進路就職、入所、通所授産施設 <p>(3) 職場見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none">計画日時場所		<ul style="list-style-type: none">自分の係の仕事、父母や兄弟などの職業や家庭内での仕事を調べ、それぞれが学校生活や家庭生活の中で重要な役割を持っていることに気付かせる。カードに記入する活動などを通して、家庭の手伝いの習慣化を図る。VTRなどにより卒業後は様々な進路があり、卒業生がそれぞれの場で頑張っていることに気付かせる。企業や授産施設、福祉工場など様々な職場を見学させ、いずれも働く生活が中	<ul style="list-style-type: none">写真仕事カードカードVTR進路先一覧表地図	<p>職 4-3</p> <p>道 4-(1)</p> <p>家 4-38</p> <p>職 4-33</p> <p>職 4-35</p> <p>職 4-32</p>

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・職場や仕事内容 <p>(4) 将来の生活を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしてみたい仕事 <p>2 校内実習の計画を調べる。</p> <p>(1) 目的と意義を知る。</p> <p>(2) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画 ・時期と回数 ・6月の計画 ・班編成 ・仕事内容 <p>(3) 実習の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習における態度 <p>(4) 実習に向けて気を付けることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日誌の提出 ・言葉遣い ・服装 ・休憩の過ごし方 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">校内実習をする</div> <p>3 校内実習の反省をする。</p> <p>(1) 後始末をする。</p> <p>(2) 反省会をする。</p>	<p>心になっていることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩の仕事を参考にしながら、自分のしてみたい仕事を発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の働く生活のために、数多くの実習を経験する必要性のあることを、行事計画表で理解させる。 ・VTRを上級生と一緒に視聴することにより、具体的な内容を3年生から知らせてもらう。 ・掲示用の表を利用し、空欄を埋める作業により作業内容や班編成などに気付かせる。 ・実習の目標を、作業学習の様子などを基にしながら決めるようにする。 ・校内実習中の日程表を基に、一日の流れに沿って具体的な場面を動作化するなどして、実習において気を付けることを気付かせる。 ・実習をやり遂げた時の喜び、満足感などを知らせ、実習への意欲を持たせる。 ・班を中心にした役割分担や仕事内容を設定し、互いに協力しながら活動させる。 ・作業内容や時間など実際の職場を想定して実習に取り組ませる。 ・休憩時間には、友達同士で遊ばせるなどして、お互いのかかわりを深めるようにする。 ・班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 ・班で話し合った実習の反省を全体場で発表させ、集団の中での自己表現力も高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・VTR ・カメラ <ul style="list-style-type: none"> ・行事計画表 <ul style="list-style-type: none"> ・VTR ・日程表 ・班編成表 ・作業内容表 <ul style="list-style-type: none"> ・目標カード ・実習日誌 ・作業服 <ul style="list-style-type: none"> ・VTR 	<p>国 4-8</p> <p>数 5-5</p> <p>職 4-10</p> <p>道 2-(1)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 2-(3)</p> <p>職 4-43</p> <p>道 1-(5)</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>4 現場実習について調べる。</p> <p>(1) VTRを視聴する。</p> <p>(2) 計画を調べる。</p> <p>・期日 ・目的 ・内容</p> <p>・班編成</p> <p>(3) 先輩の実習先を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生と一緒に学習することにより、実習の経験を発表してもらい、今回の現場実習に対しての見通しを持たせる。 ・ 先輩の職場を知ること、次回の現場実習に対して希望と意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 仕事内容表 	
<p>5 現場実習の準備をする。</p> <p>(1) 職場訪問をする。</p> <p>(2) 実習仕行会の準備をする。</p> <p>・ 仕事内容</p> <p>・ 個人目標</p> <p>実習仕行会に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の職場を見学することで、様々な職種があることや社会のしくみを知らせる。 ・ 仕事内容や個人目標を画用紙に書かせたり、みんなの前で発表させたりすることにより実習への意欲を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色画用紙 ・ マジック 	社 4-24
<p>(3) 実習の準備をする。</p> <p>現場実習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌等を利用して家庭との連携を密にして個人指導に努める。 ・ 出来高表を利用して個人の一日の仕事量を記録し、具体的に賞賛できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌 	職 4-37
<p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <p>(2) 反省や課題をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌を基に、個人目標がどの程度達成できたか一緒に考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 個人目標カード 	

高等部 2 学年

単元名	働 く 生 活 Ⅱ	1 8 時間	5 月上旬～6 月中旬	
単元について	<p>高等部2年生は、これまで校内実習、現場実習など様々な場での仕事を通して、働くことへの意欲は高まりつつあり、こういった時期に自分の働くことに対する課題を明確にするとともに、卒業後の自分の将来にさらに関心を持たせることは重要なことである。</p> <p>生徒たちは、これまでに2回の校内実習と現場実習を経験しており、なぜ様々な実習を体験するのかといった働くことに関する具体的な内容はある程度理解しつつあり、また、最後まで仕事をやり遂げようといった働くことへの意欲も育てきつつある。しかし、自分の働くことに関する課題が何であるか分かっていなかったり、また、分かっているでもそれを解決しようとする様子はほとんど見られない。また、自分の働くことに関する課題を解決することが、卒業後の自分の将来の生活に役立っていくのだということを理解するまでは至っていない。</p> <p>そこで、本単元においては、これまでの実習を振り返らせながら、先輩の進路を調べたり、校内実習、現場実習の個人目標、仕事内容などの学習をしたり、また、実際に職場訪問先で働く先輩の仕事を見たり、実際に校内実習や現場実習に参加したりすることを通して、それぞれの生徒の働くことに関する課題を明確にし、自分で解決しようとする意欲を育てるとともに、卒業後の社会や家庭での自分の生活に対する関心を高めていきたい。</p> <p>これらの学習を通して、生徒たちは、学校や家庭の中で自分の課題を意識しながら生活していく様子が見られるようになるであろうし、そのことが卒業後の自分のよりよい生活への契機になっていくものと考ええる。</p>			
目標	<p>○ 先輩の進路を調べたり、校内実習、現場実習の個人目標、仕事内容などの学習をしたり、また実際に職場訪問先で働く先輩の様子を見たり、校内実習や現場実習に参加したりすることを通して、それぞれの生徒の働くことに関する課題を明確にし、自分で解決しようとする意欲を育てるとともに、卒業後の社会や家庭での自分の生活に対する関心を高める。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 卒業後の生活を考える。 (1) 先輩の進路を調べる。 ・ 今年の卒業生の進路 ・ 就職、入所、通所授産施設 (2) 卒業までの活動を調べる。 ・ 実習の時期 ・ 卒業の期日 (3) 将来の生活を考える。 ・ 自分のしたい仕事 ・ 家庭での役割 ・ 収入		<ul style="list-style-type: none">・ 今年3月の高等部卒業生の進路先を調べ現在どのような生活を送っているか、VTRや写真などで知らせる。・ 2年間の行事予定表を基に、卒業までに何回実習を経験するか調べさせ、卒業までの見通しを持たせる。・ 卒業後は仕事だけでなく、家庭での手伝いや役割があることを知らせる。・ 自分の働いた収入が、生活にどうかかわっているかを考えさせる。	<ul style="list-style-type: none">・ 写真・ VTR・ 行事予定表	職 4-3 職 4-33 道 4-(1) 社 4-25

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>2 校内実習の計画を調べる。</p> <p>(1) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の経験の発表 ・ 今年の日程と作業内容 ・ 班編成 <p>(2) 実習の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の反省と課題 ・ 今年頑張ること <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">校内実習をする</div> <p>3 校内実習、校内宿泊の反省をする。</p> <p>(1) 後始末をする。</p> <p>(2) 反省会をする。</p> <p>4 現場実習について調べる。</p> <p>(1) V T R を視聴する。</p> <p>(2) 昨年の経験を発表する。</p> <p>(3) 実習先を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 所在地 ・ 仕事内容 <p>(4) 個人目標をきめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の経験を全体の前で発表したり、動作化したりして自己表現力を高めさせる。 ・ 昨年の V T R を見せながら、今年の日程、作業内容などを発表させる。 ・ 前回の実習日誌、評価表、個人目標などから課題を導き出させ、具体的な個人目標を設定させる。 ・ 朝礼や清掃、給食など班を中心にして活動させる。 ・ 作業内容や時間など実際の職場を想定して実習に取り組ませる。 ・ 休憩時間には、友達同士で話をしたり遊んだりしながら、かかわりを深めるようにする。 ・ 出来高表を使って、一日の仕事量を知らせるようにする。 ・ 班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 ・ 班で話し合った実習の反省を全体場で発表させる。 ・ 1 年生に分かりやすく説明することで自己表現力も高めさせる。 ・ 家から実習先までの交通機関を路線図や地図などを利用して調べさせる。 ・ 実習先の仕事内容から今回の実習で努力しなければならないことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ V T R ・ 日程表 ・ 作業内容表 ・ 班編成表 ・ 目標カード ・ 実習日誌 ・ 評価表 ・ 掃除道具 ・ 日程表 ・ 出来高表 ・ V T R ・ 地図 ・ 実習先一覧表 ・ バス路線図 ・ 時刻表 	<p>道 1-(5)</p> <p>数 5-5</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 2-(3)</p> <p>職 4-9</p> <p>国 5-4</p>

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>5 実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を調べる。</p> <p>(2) 必要な練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話のかけ方と連絡の仕方 あいさつや返事 <p>(3) 職場訪問をする。</p> <p>(4) 実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習先 ・ 仕事内容 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;">実習壮行会に参加する</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;">現場実習をする</div>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携をとり、実習先までの通勤練習に取り組ませる。 病気やバスに乗り遅れた時のことを想定して、電話の掛け方の練習をさせる。 仕事内容がよく理解できなかったり、失敗したりした時に、どのように尋ねればよいか考えさせる。 実習先や個人目標を全体の前で発表することにより決意を新たにさせる。 家庭や実習先との連携を密にし、実習の目的や個人目標が達成できるように個人指導を進める。 実習日誌を基にして発表する内容をまとめさせる。 次の実習で努力しなければならない事項を一人一人設定する。 実習での課題や成果は教育相談等を通して家庭にも知らせ、課題は家庭と学校と協力しながら解決していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 受話器 テレホンカード 色画用紙 出来高表 作業内容表 実習日誌 VTR 作文用紙 封筒 切手 便せん 画用紙 	<p>職 4-36</p> <p>道 2-(1)</p> <p>社 4-24</p> <p>職 4-10</p> <p>職 4-37</p> <p>職 4-38</p> <p>国 5-18</p>
<p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 頑張ったこと 注意されたことなど <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙と作文 <p>(3) 次の実習で頑張ることをまとめる。</p>			

高等部 3 学年

単元名		働 く 生 活 Ⅲ	1 8 時間 5 月上旬～6 月中旬	
単 元 に つ い て	<p>高等部3年生は、卒業を間近に控えており、こういった時期に卒業後自分が様々な場で働く生活を送ることを明確に理解させるとともに、自分の働くことに対する課題を意識し、それを解決させながら残された高等部生活を過ごさせることは、とても重要なことである。</p> <p>生徒たちは、これまでに4回の校内実習と現場実習を経験しており、実習の具体的な内容は理解しており、また、自分の働くことに関する課題を意識し、それを解決しようとする意欲は育ってきつつある。しかし、自分の働くことに関する課題をどのように解決すればよいか分からなかったり、分かっている人から言われて気付いたりするなど、自分から積極的に課題を解決しようとする様子はあまり見られない。また、自分が卒業後様々な場所で働くのだということはある程度分かっているが、自分の将来についての見通しを持っているとは言えない。</p> <p>そこで、本単元においては、卒業生の進路を調べたり、先輩の進路選択までの経緯の説明を聞いたり、これまでの実習の評価や反省を基に、個人の課題が明確になるような個人目標やその解決策を設定したりするとともに、実際に職場訪問や校内実習、職場実習に参加したりすることを通して自分の働くことに関する課題を積極的に解決しようとする態度を育てるとともに、自分の将来の生活についての見通しを持たせていきたいと考える。</p> <p>これらの学習を通して、生徒たちは、自分の課題を学校生活の中で積極的に解決しようとするようになってくるであろうし、そのことが、卒業後の社会や家庭においてのよりよい生活につながっていくものと考えている。</p>			
	<p>○ 卒業生の進路を調べたり、個人の課題が明確になるような個人目標やその解決策を設定したりするとともに、実際に職場訪問や校内実習、職場実習に参加したりすることを通して、自分の働くことに関する課題を積極的に解決しようとする態度を育てるとともに、自分の将来の生活についての見通しを持たせる。</p>			
	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 卒業後の生活を考える。</p> <p>(1) 卒業生の進路を調べる。</p> <p>・就職、入所、通所授産施設</p> <p>(2) 卒業までの実習を調べる。</p> <p>・実習の回数 ・実習の意義</p> <p>(3) 卒業後の生活を考える。</p> <p>・自分の仕事 ・収入</p> <p>・家庭での仕事</p> <p>2 校内実習について調べる。</p> <p>(1) 今までの実習の反省をする</p> <p>・VTRの視聴</p>	<p>・ 今年3月の高等部卒業生の進路を調べることにより、いろいろな進路があることを知らせる。</p> <p>・ 卒業までの実習を調べることにより、残りの高等部生活や実習を充実したものにしようとする意欲を持たせる。</p> <p>・ 卒業後は社会での仕事だけでなく、家庭での手伝いや役割があることを知らせる。</p> <p>・ 昨年度の実習を全体の前で発表したり動作化したりすることで表現力も高める。</p>	<p>・写真</p> <p>・VTR</p> <p>・行事予定表</p> <p>・カレンダー</p> <p>・VTR</p>	<p>職 4-3</p> <p>社 5-24</p> <p>道 4-(1)</p> <p>職 5-32</p> <p>道 1-(5)</p>	

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌調べ <p>(2) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程や仕事内容 ・班編成 <p>(3) 実習の目標を決める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">校内実習をする</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌などから前回注意されたことやうまくいかなかったことを調べさせる。 ・ 昨年のVTRを基に校内実習の日程、仕事内容などを発表させる。 ・ 前回の実習日誌、個人目標から課題を導き出し、特に頑張ることを考えさせる。 ・ 朝礼や終礼、清掃や給食など班を中心にして活動させる。 ・ 作業内容や時間など実際の職場を想定して実習に取り組ませる。 ・ 休憩時間は、自分で工夫しながら、有効的に使わせるようにする。 ・ 出来高表を使って、一日の仕事量を知らせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌 ・仕事内容表 ・班編成表 ・目標カード ・掃除道具 ・日程表 ・出来高表 	<p>数 5-5</p> <p>道 4-(1) 道 2-(3) 職 4-(3)</p> <p>職 5-40</p>
<p>3 校内実習の反省をする。</p> <p>(1) 後始末をする。</p> <p>(2) 反省会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・個人目標 ・班としての反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班で使用した作業場や道具の後始末を協力して行わせる。 ・ 学級や班で話し合った実習の反省を全体の場で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除道具 	<p>職 5-40</p>
<p>4 現場実習について話し合う。</p> <p>(1) これまでの体験を発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴 <p>(2) 実習先を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 ・仕事内容 <p>(3) 個人目標を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年生にも実習の内容を分かりやすく説明させることで、自己表現力も高める。 ・ 実習先の所在地や仕事内容を調べることで実習に対する意欲を高めさせる。 ・ 実習先の仕事内容やこれまでの実習の反省から、今回の実習で努力することを決め発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・実習先一覧表 ・地図 	<p>国 5-4</p>

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>5 実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関と道順 <p>(2) 必要な練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話の掛け方 ・ 言葉掛け <p>(3) 職場訪問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事内容の確認 ・ 担当者へのあいさつ <p>(4) 実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先、仕事内容、個人目標の発表 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">実習壮行会に参加する</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">現場実習をする</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家から実習先までの道順や交通機関を路線図や地図などを利用して調べさせる。 ・ 病気やバスに乗り遅れた時のことを想定して、電話の掛け方の練習をさせる。 ・ 仕事内容や指示がよく理解できなかったときや失敗したときに、どのように尋ねればよいか考えさせる。 ・ 担当者や仕事内容の確認を十分にし、初日からの不安を軽減させる。 ・ 実習先や個人目標を全体の前で発表することにより決意を新たにさせる。 ・ 家庭や実習先との連携を密にし、実習の目的や個人目標が達成できるように個人指導を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線図 ・ 時刻表 ・ 受話器 ・ テレホンカード ・ 色画用紙 ・ 出来高表 ・ 作業内容表 ・ 実習日誌 ・ 作文用紙 ・ 封筒 ・ 切手 ・ 便せん 	<p>職 5-24</p> <p>職 5-33</p> <p>道 2-(1)</p> <p>職 5-10</p> <p>職 5-29</p> <p>職 5-34</p> <p>職 5-35</p> <p>国 5-18</p>
<p>6 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 実習報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったこと ・ 注意されたことなど <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p> <p>(3) 実習の反省をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに取り組むこと ・ 家庭での仕事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下級生の前で、自分が努力したことなどを動作化して分かりやすく説明させる ・ 次の実習や進路選択に向けて、努力しなければならないことをまとめさせる。 ・ 実習での課題や成果は教育相談等を通して家庭にも知らせ、進路選択のため課題を積極的に解決できるように協力を得る。 		



高等部 全学年

単元名	臨 海 宿 泊	1 8 時間 6 月下旬～7 月上旬
単 元 に つ い て	<p>海には、貝や魚などの生物や波の音や潮のにおいと自然の要素が多く、季節柄、私たちもよく接する。このような自然に親しみ、友達と一緒にテントを立て寝食を共にする活動は、日ごろ家庭で親への依存的な生活に慣れている生徒たちにとっては自立を目指す上で大切な体験の機会である。</p> <p>生徒たちは、身近な動植物に触れる経験はあり、貝や魚などに興味はあるが、名前や特徴などの理解の深まりや海を汚さないといった自然を大切に、キャンプなどで自然に親しむといった意識も高まっていると言えない。また、衣服の整理や食事等の準備や始末など自分で確実に行えなかったり、集団の中で自主的に取り組もうとしなかったりと集団生活に課題を持つものも多い。</p> <p>本単元では、海辺の生物の名前を調べたり実際に触れさせたり、自然探索や観察等をさせたりして、自然への理解を深め、親しむ態度を育て、キャンプという集団生活での自分の身の回りの整理や係を行うことで役割意識を高め、協調性や自主性を育てていこうとするものである。</p> <p>そこで、海の自然への理解を深めるために、生物の名前や特徴を調べたり実物に触れさせたりする活動を準備する。また、集団での活動が充実するように学年を解いた班編成を行い、個々の能力や経験を生かした役割分担や課題設定ができるようにしていきたい。そして、生徒たちは、自分たちで計画し、身の回りの整理や係などを確実に行い役割を果たすことや自然を大切にすることで一層楽しいキャンプになることにも気付かせたい。</p> <p>これらの学習を通して、自然への理解をより高め、自然と親しみを深め、大切にしようとする態度を育て、集団生活での協調性や役割意識、自主性を育てることができると考える。</p>	
目 標	<p>○ 海辺の自然の生物等の名前や特徴を調べたり、実際に接したりすることで、自然に対する理解を深めるとともに、2、3年の上級生と食事などの準備や練習をしたり、自分の身の回りの整理や役割を行ったりする中で、集団生活の楽しさを味わわせる。(1年)</p> <p>○ 自然の生物や景色に触れ、自然を大切にすることを育てるとともに、集団活動での役割や活動を知り、下級生と一緒に練習や準備を行うことで、協調性や自主的な態度を育てる。(2、3年)</p>	
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備 関 連 内 容
<p>1 臨海宿泊について話し合う。</p> <p>(1) 臨海宿泊の計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の V T R ・ 期日 ・ 目的 ・ 場所 <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な練習や準備 ・ 臨海宿泊の日程 <p>(3) しおりを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製本 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の V T R を見せ、臨海宿泊の活動を大まかにとらえさせ、意欲を高めるとともに学習への見通しを持たせる。 ・ 経験のある 2、3 年生を中心に学習を進め、活動をスムーズにするとともに学習計画表等を使い繰り返し確認することで活動への意識を高めさせる。 ・ しおりは活動や海の自然や目的地の地理など、図や絵を用いて生徒が理解しやすいようにし、実態に応じて記入法を工夫して学習の中で活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ V T R ・ 地図 ・ 写真 ・ 学習計画表 ・ 製本に必要な道具 <p>国 3-3 数 3-5-7 社 4-6, 29, 30 国 3-15 数 4-1 職 5-7</p>

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>2 臨海宿泊の場所の自然や特色などを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理 ・ 海の生物や環境 ・ 海のV T R ・ 釣りや貝掘りのしかた ・ 海辺の植物や昆虫採集等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態に応じて内容を精選するとともに生徒自身が調べたり、実物と触れられる時間を設定する。2, 3年生は実態に応じてさらに発展的な内容を扱っていく。 ・ 釣りや貝掘りなど模擬的な活動を準備し、興味・関心を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図 ・ 図鑑 ・ 植物や生物（貝や魚など）の実態 	<p>社 4-29, 30</p> <p>理 4-8, 9, 22, 24</p> <p>道 3-(1)</p>
<p>3 臨海宿泊の生活について話し合う。</p> <p>(1) 班編成や役割分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長 テント班 活動班 ・ 必要な仕事や係 <p>(2) 約束や心得を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等の利用 <p>(3) 自然探索について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、自分の班員や班名をしっかり理解させ集団での活動を意識させる。 ・ 2, 3年生は、活動の中心となるように促していく。係の仕事内容や活動について経験があることから動作化させて1年生に知らせたり、一緒に活動させたりしてリーダーとしての自覚を高めさせる ・ 約束や心得は絵カードなどを用いて分かりやすいように知らせ、動作化させて体験的に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット ・ 班編成表 ・ 係分担表 ・ 絵カード ・ しおり ・ キャンプ道具（着替え等） 	<p>社 5-8</p> <p>道 4-(1)</p> <p>国 3-15, 4-15, 17</p> <p>社 4-9</p> <p>5-5, 8</p> <p>家 4-2</p>
<p>4 準備や演習をする。</p> <p>(1) 持ち物の準備と整理をする。</p> <p>(2) テント用具の準備と立て方の練習をする。</p> <p>(3) 献立計画と買い物練習をする。</p> <p>(4) キャンプファイヤーの出し物の計画と練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、身辺の処理を中心に繰り返し練習させ、自分でできるようにする。 ・ 2, 3年生は、自分たちで献立や出し物を決める場を設定し、練習や準備を班のリーダーとして主体的に1年生と一緒にを行うように促す。 ・ 荷作り等は班ごとに仕事を割り当て、班ごとに協力して行うように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テント用具 ・ 調理用具 ・ 買物計画表 ・ 献立表 ・ 出し物の道具 	<p>道 2-(3)</p> <p>職 4-6, 5-3</p> <p>理 4-24</p>
<p>5 荷作りや荷積みをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の自主性を大切に、自然に直接触れる機会を多く持たせ、決まりを守らせ安全に楽しく活動させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロープ ・ 段ボール 	<p>数 2-5</p>
<p>6 臨海宿泊に行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、自分の身の回りの整理や係の仕事がしっかりできたかを中心に、2, 3年生は、活動に積極的に取り組めたかについて取り扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しおり ・ 反省表 	<p>職 4-13, 14, 5-15</p>
<p>7 後始末や反省をする。</p> <p>(1) 用具類の後始末をする。</p> <p>(2) 反省や思い出の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役割や仕事 ・ 楽しかったことや思い出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生は、活動に積極的に取り組めたかについて取り扱う。 ・ 思い出など絵や文にして発表させたり採集物などを整理させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ V T R ・ 筆記用具や絵の具等 	<p>国 4-15, 5-18</p> <p>美 4-1</p>

高等部 全学年

単元名	運 動 会	30時間	9月～10月上旬
単 元 に つ い て	<p>学校行事として行われる運動会は、身体発育の盛んな生徒たちにとって自分の運動能力を発揮するとともに、競技の楽しさなどを味わう良い機会であり、しかも全校で取り組むため小・中学部の下級生の世話などをし、率先して活動できる体験の場である。また、秋は運動に適した季節で各種スポーツ大会などもあり、運動や自分の体力や健康への関心も高くなる。</p> <p>生徒たちは、朝のトレーニングや体育の時間等で身体を動かすことは好きで、相撲や野球などスポーツへの興味も見られるが、自分から積極的に取り組んだり、運動と健康の関係について意識を深めたりするまでに至っていない。学校全体の活動だが、下級生と協力したり、自分たちが中心となって活動したりという意識も高まっていない。</p> <p>本単元では、運動会に関する種目の練習や準備等の学習を通して、運動の楽しさや競技のおもしろさを学ばせるとともに、小・中学部の世話をしたり、自分たちが活動の中心となって動いたり、模範を示したりすることで最上学部としての意識を高め、思いやる態度や協力する態度を育てたい。そのために生徒たちの過去の経験を生かし、準備や係などで見通しを持って主体的に参加させ、周囲からの承認で満足感を味わうようにする。また、社会生活を控えているので、運動と身体の健康の関係や手洗いや簡単な応急処置等の衛生管理に関する面に触れ、健康への意識を高めていく。運動会や健康についての話し合い活動等を通して、健康のための体力づくりや運動に親しもうとする意欲を高めたい。これらの学習を通して協力して自分の役割を果たそうとする態度や今後の生活を自分でより健康的にし、余暇をスポーツで楽しむなど豊かなものにできると考える。</p>		
目 標	<p>○ 運動会の練習や準備、係活動、競技などを通して、友達や下級生と協力しようとする態度や自分の役割を果たそうという意識を高め、運動や健康的な生活に関心を高める。（1年）</p> <p>○ 運動会の練習や準備、係活動等を通して、積極的に下級生と一緒に協力して取り組む態度や自分の役割を最後までやり通そうという責任感を育てるとともに、健康に対する意識や体の働きを理解し、運動に親しもうとする意欲を高める。（2，3年）</p>		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1. 運動会について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の様子をみる。</p> <p>(2) 今年の計画を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日や日程 出場種目や練習計画 <p>(3) 練習での心構えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動前の準備運動等 運動後の手洗いや汗ふき 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度のVTRを視聴させることで想起させ、学習への興味・関心を高める。 経験を基に学習計画を立てさせ、より見通しが持てやすいようにする。 係の活動等は実際に活動したり絵カードを掲示したりし分かりやすく知らせる。 話し合い活動では、教師は生徒の実際に応じて援助をしたり教具等を工夫したりして表現できやすいようにする。 実際に運動の前や後ろでの活動を通してできるだけ習慣化するように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR ・ 学習計画表 ・ プログラム ・ 絵カード ・ タオル等 	<p>国 3-2 5-4</p> <p>国 5-2, 4, 17, 25</p> <p>道 1-(1) 数 3-7 5-5</p> <p>保 5-4</p>

主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>2 運動会の準備や練習をする</p> <p>(1) 組分けや係などを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組分け ・ 応援団 ・ 用具や審判 ・ 学部種目 <p>(2) 用具の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部種目やダンスの用具 <p>(3) 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部練習 ・ 全体練習 <p>開会式 閉会式 全体種目 応援など</p> <p>運動会に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の希望や自主性を大切にして係や種目などを決めるが、男女比や学年などを考慮するように働きかける。 ・ 経験のある2, 3年生にはいろいろな活動のリーダーとならせたり1年生への模範として活動させたりするように配慮する。 ・ 用具の準備等はグループで行わせる。 ・ 小・中学部の世話するように言葉を掛けたり、一緒に教師が活動したりする。 ・ 最高学部の生徒としてリーダーシップを発揮させ、分担された種目や仕事に積極的に取り組ませる。 ・ 運動の後や練習の後は、手洗いやうがい、汗ふきなどに配慮し健康管理について随時触れるようにする。 ・ VTRなどを用いて印象に残ったことなどを中心に他教科との関連を図りながら絵や文でまとめさせる。 ・ 運動会での競技種目に触れたり、身近な運動が想起しやすいように運動に使う道具、スライドやVTRなどを準備したりして、学習への興味・関心を高める。 ・ 生徒の特性等を考慮して、経験のある運動などを動作化させ発表させる。 ・ 実際の活動を通して身体の変化や運動後のさわやかさについて気付かせることともに生徒に理解しやすいような模型や絵カードなどを準備する。 ・ 生徒の実態に応じて、健康に関する内容を取り扱うようにする。(例えば、体温計の取り扱いや応急処置など) また、いろいろなスポーツ大会を行うなど、運動に親しませる機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 組み分け表 ・ 係分担表 ・ 種目に必要な用具 ・ うちわ ・ 笛 ・ 団旗等 ・ ぞうきん ・ VTR ・ プログラム ・ VTR ・ 写真 ・ スライド ・ 絵カード ・ 人体の模型 ・ 応急処置の道具 ・ スポーツの用具 ・ テレビ ・ VTR 	<p>国 5-6 道 4-(3) 数 1-7 2-1, 2 道 1-(3) 社 5-5 職 4-1 美 3-7, 8 4-1 道 4-(1) 体 3-3, 4 4-16 29, 30 音 3-9 4-7 社 5-6 職 4-1, 9 国 5-4, 18 美 4-1 社 5-32 保 5-2, 7 道 1-(1) 数 2-13 体 4-28 5-20 国 5-5</p>
<p>3 用具の後始末をする。</p> <p>4 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係や役割について ・ 楽しかったこと <p>5 運動と健康について話し合う。</p> <p>(1) 運動会の経験を基に身近な運動やスポーツについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短距離走やリレーなど ・ 相撲や野球など <p>(2) 運動と健康の関係を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動による体の変化 ・ 健康な生活 			

単元名	職 場 の 生 活 I	27時間	10月下旬～12月上旬	
単元について	<p>企業や施設等で実習をするに当たっては課題の多い生徒たちにとって、養護商会（学校内）で実習することでのその改善に向けて基礎的・基本的な力を身に付けさせることは大切である。</p> <p>生徒たちは、これまでに現場実習、校内実習を通して、ある期間継続して企業や施設、養護商会等での仕事の経験をしたり、周りの人々と協力したりする体験をしてきている。しかし、指示や介助による短時間での作業はできても、作業の途中で動作が滞ってしまったり、投げ出してしまったりするなど、働くことに関する意識や意欲はあまり見られない。また、日常生活場面において身辺処理面に課題があったり、問題行動が見られたりする生徒も多く、企業や施設で働いていくための好ましい対人関係や基本的な生活習慣等において多くの課題がみられる。</p> <p>そこで、この単元ではこれまでの実習における評価や反省を基に、その課題を明確にし、具体的な体験（的）活動を取り入れて改善させていきたい。そのためには事前学習において、職場に出勤してタイムカードを押す場面から、日誌の提出やあいさつの仕方、更衣、作業や掃除、休み時間の過ごし方、食事、そのほか身辺処理面まで職場の一日の流れに沿って具体的に、実際の活動を繰り返し練習する場面設定をして指導し、基本的な生活習慣化を図りながら仕事をするに関心を持たせていきたい。また昼休みや仕事を終えた後などの余暇活用について、友達と一緒に取り組ませる活動をさせていながら、楽しく生活していこうとすることを身に付けさせていきたい。</p> <p>これらの学習を通して、養護商会で仕事をする意義を分かるとともに、自分の課題を改善し企業や施設等で働いていこうとする態度や将来の進路に関心を持たせることができるものとする。</p>			
目標	<p>○ これまでの校内実習や現場実習での反省を基に、職場での一日の流れに沿った生活ができるように、仕事内容や自分の課題など働くことに関することを具体的、实际的に体験させ、養護商会での仕事に積極的に取り組もうとする態度を身に付けさせる。</p> <p>○ 将来の仕事について話したり、卒業生の生活の様子をVTRで見たり、養護商会での実習に向けての準備や練習を通して、働くことや将来の進路に関心を持たせる。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 卒業後の生活を話し合う。 ・ 自分にできる仕事 ・ 家庭での生活 ・ 授産施設（入所・通所） ・ 福祉作業所での生活		・ 家族がそれぞれ役割を持って働いていることに気付かせる。 ・ 卒業生がどんな所で生活しているか写真やVTRを基にして話し合わせる。 ・ 3年生には卒業を前にした現実的な話をする。	・ 写真 ・ VTR	職 4-35 社 4-23 4-16 生・社 3-1
2 現場実習について調べる。 ・ 実習の意義、目標、実習期間、仕事内容 ・ 実習中の注意、約束		・ これまでの実習をVTRなどで確認しながら実習内容について話し合う。 ・ 働くことに関する自分の課題を解決するように目標の話し合いをさせる。	・ 学習計画表 ・ VTR	国 3-3 職 4-37 39
3 現場実習へ向けての準備と練習をする。		・ 具体的な場面を設定して練習させる。	・ 班編成表 ・ 目標記録カード	道 4-(1) 社 4-16

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>(1) 実習日誌を作り、提出の仕方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌の作成、記入の仕方 <p>(2) 作業の着脱、自分の持ち物の区別や整理の仕方を練習する。</p> <p>(3) 仕事をするときの態度やあいさつの仕方を練習する。</p> <p>(4) 食事、手洗いや用便など身辺処理に関する練習をする。</p> <p>(5) 職場での昼休みなどの余暇活用の仕方について練習をする。</p> <p>4 実習壮行会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先、仕事内容、実習目標、発表態度 ・ 発表の練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 実習壮行会をする 現場実習をする </div> <p>5 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 報告会の準備をする。</p> <p>(2) 報告会に参加する。</p> <p>(3) 実習の思い出を絵や作文に書く。</p> <p>6 校内実習について話し合う。</p> <p>(1) 校内実習について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習目標、期間、仕事内容、役割分担 ・ 班編成、作業場の準備 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 校内実習をする </div> <p>(2) 校内実習の反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標と改善点 <p>7 職場の生活についての反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回使った日誌を見せながら作らせ、簡単な記入の仕方を練習させる。 ・ 日誌の正しい提出の仕方を練習させる。 ・ 養護商会の一日の流れを模擬的に取り扱い、職場での過ごし方について具体的な場面を取り入れながら練習させる。 ・ 相手に分かるようなあいさつの仕方を練習させる。 ・ 場面を設定して改善しなければいけない所を繰り返し練習させる。 ・ 周りの人と話をしたり、レクリエーションをしたり、体を休めたりすることの大切さを知らせる。 ・ 全体の前で発表したり、動作化させたりすることで自己表現力を高める。 ・ 発表方法は、生徒の実態を考慮して進め、仕事をする意欲を高める。 ・ 班員で作業活動内容を具体的に分担して練習し役割意識を高める。 ・ 実習で良かった点、悪かった点を知らせる。 ・ 報告会の準備を実態に応じて進める。 ・ 実習の思い出として写真をはったり、製品を提示したりする。 ・ 現場実習で身に付けたことを校内実習に生かしながら自分の課題を解決していく努力をさせる。 ・ 養護商会での仕事内容を確認し、努力しなければいけないことを発表させる。 ・ 現場実習で注意されことを模擬的に扱い、改善点について知らせる。 ・ 仕事をすることの大切さや、将来の進路について関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習日誌 ・ 日程表 ・ タイムカード ・ 作業服 ・ 作業帽子 ・ 運動用具 ・ カードゲーム ・ 発表用紙 ・ 作業服 ・ 作業帽子 ・ 実習日誌 ・ 写真 ・ V T R ・ 画用紙 ・ 原稿用紙 ・ 学習計画表 ・ 出来高表 ・ 社訓 ・ 日程表 ・ 実習日誌 ・ 原稿用紙 ・ 画用紙 	<p>国 3-16 生・基 2-38</p> <p>道 2-(1)</p> <p>国 3-8 職 4-43</p> <p>音 4-7, 8 6-1</p> <p>国 3-8, 17 職 4-38 道 4-(4) 道 2-(1)</p> <p>国 3-8 職 4-40</p> <p>国 3-18 道 4-(1)</p> <p>職 4-1 ~11</p> <p>生・役 3-4</p> <p>国 3-8 5-4 職 5-32</p>

単元名	職 場 の 生 活 Ⅱ	27時間	10月下旬～12月上旬	
単元	<p>入所・通所授産施設や福祉作業所等で実習をする生徒たちにとって、周りの人々の触れ合いやいろいろな仕事を通して、自分の働くことに関する課題を意識させ、それに向かって解決していこうとする態度を身に付けさせ、働きながら生活を送るための意欲を持たせることは大切である。</p> <p>生徒たちは、これまでに校内における実習を通して働くための基礎的な力を身に付けながら、仕事することへの興味や周りの人々と協力しようとする態度が育ってきている。しかし簡単な作業能力や態度は備わっていても働くことへの意義の理解は不十分で、自分の課題を意識し解決していこうとする意欲はあまりみられない。また将来、職場での生活を送りながら余暇を楽しんだりすることなどといった自分の将来の生活についての関心は高まっていない。</p> <p>そこで、この単元では実習に向けた職場での生活を目指して、これまでの実習での評価や反省の基に、実習についての意義や目的などの心構えなどを身に付けさせたい。そのためには仕事内容のほかに職場でのあいさつやマナーなどの対人関係に関することや、日誌の提出の仕方、更衣室の利用や整理整頓の仕方、食事の仕方など職場の一日の流れに沿って具体的な内容を模擬的に扱った上で現場実習を体験させ、そこで指摘されたことを校内実習で改善していく努力をさせる。また、昼休みや帰宅後の過ごし方などについて、実際の活動を取り入れ、将来の生活への関心を高めさせていきたい。</p> <p>これらの学習を通して、職場で働く心構えができ、自分の課題解決に向かって取り組んでいこうとする態度や将来の進路についての関心が高まっていくものと考ええる。</p>			
目 標	<p>○ 現場実習や校内実習に向けて、これまでの実習での反省を基に働くことの課題を明確にするとともに、自分から改善していこうとする態度や入所・通所授産施設や福祉作業所等の職場で意欲を持って働く心構え育てる。</p> <p>○ 将来の仕事や卒業生の生活について調べながら、入所・通所授産施設や福祉作業所等での実習に向けての準備や練習を通して、職場での生活や将来の進路について関心を高めさせる。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 将来の授業について話し合う。 ・ 自分がしたい仕事 ・ 卒業生の進路先（事業所・授産施設・福祉作業所等） ・ 家庭での生活		・ 卒業生がどのように生活しているか写真やVTRで気付かせる。 ・ 自分がしたい仕事について話し合い、これまでの実習を振り返り、もっと努力しなければいけないことを発表し合う。	・ 先輩が働いている写真 ・ VTR	職 4-35 社 4-16 23 生・社 3-1
2 現場実習について調べる。 ・ 実習の意義・目的 ・ 実習先、就労時間、実習期間、仕事内容、通勤方法		・ 3年生には現実的な話をする。 ・ 働く時間や仕事の内容を話し合い、学校生活と違った職場の生活について分からせる。	・ 学習計画表 ・ 地図	国 4-4 職 4-37 39 道 4-(1)
3 現場実習へ向けての準備と練習をする。		・ 余暇を利用して保護者と一緒に通勤や職場での仕事の練習をさせる。	・ 写真	社 4-16 職 5-33

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(1) 実習日誌を作り、提出の仕方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日誌の作成、記入の仕方 <p>(2) 作業服の着脱、自分の持ち物の整理の仕方を練習する。</p> <p>(3) 職場でのマナーやあいさつの仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業上での約束 質問や報告 気分が悪くなったときの届け方 昼食、休み時間や帰宅後の過ごし方 <p>3 実習壮行会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習先、仕事内容、実習目標 発表の練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 実習壮行会をする 現場実習をする </div> <p>4 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 自分の実習について反省し合いながら、報告会の準備をする。</p> <p>(2) 報告会をする。</p> <p>(3) 実習先にお礼の手紙を書く。</p> <p>5 校内実習について話し合う。</p> <p>(1) 校内実習で頑張ることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意義と目標 期間、内容、仕事内容 作業場、材料の準備 <div style="border: 1px dotted black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 校内実習をする </div> <p>(2) 校内実習の反省をする。</p> <p>6 職場の生活について反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回の日誌を見せながら作らせ、一日の出来事を話し合って記入させたり、提出させたりする。 入所・通所授産施設や福祉作業所の一日の流れを模擬的に取り扱い、職場での過ごし方を話し合わせる。 自分で作業服を着脱したり、持ち物を確かめたり、整理しなければいけないことを分からせる。 気持ちの良いあいさつの仕方について分からせる。 交通機関の利用の間違いや気分が悪くなったときの処置の仕方を練習させる。 職場の人々との触れ合いの大切さや帰宅後の過ごし方について知らせる。 発表方法を工夫させ、相手にはっきりと分かるように、練習させる。 現実実習に意欲を持って取り組ませる動機づけをする。 現場実習での評価や反省を校内実習で解決していくようにさせる。 日誌や写真等を基に、職場での様子を話し合う。 校内実習に向けての抱負を発表させる。 感謝の気持ちを込めて作文用紙に書かせる。 実習先での仕事内容から、努力したり改善したりしなければならないことを発表させる。 現場実習で課題を解決に向け、実際の職場の形態に近い雰囲気の中で作業に取り組ませる。 卒業後は、働きながら生活を送ることが中心になることを話合わせ、将来の進路について関心を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌 日程表 タイムカード 作業服 作業帽子 模擬電話 テレホンカード 発表用紙 運動用具 作業服 作業帽子 巡回記録簿 実習日誌 写真 V T R 封筒 作文用紙 学習計画表 出来高表 社訓 日程表 実習日誌 原稿用紙 画用紙 	<p>国 3-16 生・基 2-38 生・基 3-28 道 2-(1)</p> <p>国 4-8</p> <p>職 4-43</p> <p>職 5-24 38</p> <p>国 3-8 17 職 4-38 道 4-(4) 国 3-3, 8</p> <p>職 4-40 道 2-(1) 国 3-18 職 4-34 道 4-(1)</p> <p>職 4-1 ~11 職 4-43</p> <p>国 3-8, 8 職 5-32</p>

単元名		職 場 の 生 活 Ⅲ		27時間 10月下旬～12月上旬	
単 元 に つ い て	<p>事業所等での実習を目指す生徒たちにとって、卒業後それぞれの職場において働きながら生活を送ることを自覚させ、家庭や職場での豊かな生活を送るための自分の将来の生活への課題を意識しそれに向かって自ら解決していこうとする態度を身に付けさせておくことは大切である。</p> <p>生徒たちは、これまでに校内実習や現場実習等を通して働く力を身に付け、卒業後は働きながら生活を送らなければいけないという自覚が高まってきている。しかし、将来の進路のことに見通しをもって考え、生涯を通して職場で働き、収入を得て生活を営んだり、余暇を楽しんだりすることなどといった自分の将来の生活への意識化は十分に備わっていない。また自分の働くことに関する課題の解決に向かって積極的に取り組み、改善していこうとする生徒は少ない。</p> <p>そこで、この単元では、まず自分のこれまでの実習評価や反省を基に、職場の一日の流れに沿った実際的な体験活動を積んだ上で現場実習に取り組ませ、その中で指摘された事柄の課題解決に向けて校内実習で取り組ませ改善を図っていく。これらの事前、事後の学習を通して自分の働くことに関する課題を改善していこうとしたり、将来の進路選択について積極的に考えていこうとしたりする態度や、働く意義を十分に身に付けさせ、実際の職場で働くことへの意欲を更に高めさせたい。また昼休みの過ごし方や、帰宅後の余暇の活用の仕方について工夫をさせ、働きながら生活する自分の将来の生活への意義化を図りたい。</p> <p>これらの学習を通して、事業所等の職場で働く心構えが高まり、自分の課題解決に向けた仕事に意欲的に取り組む態度や、将来の進路に対する見通しを持つことができると考える。</p>				
	<p>○ これまでの校内実習や現場実習での課題を反省し、自分の働くことに関する課題を積極的に改善していこうとする態度や、事業所で実際に意欲を持って働いていこうとする心構えを育てる。</p> <p>○ 将来の職業や卒業生の生活の様子を調べ、卒業後の生活の意識化を図るとともに、事業所での実習に向けての準備や練習を通して働く意義を理解させ、将来の進路について見通しを持たせる。</p>				
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点		準 備	関連内容
1 将来の職業について話し合う。 ・ 自分の夢や希望 ・ 親、卒業生の職業 ・ 卒業後の生活		・ 卒業後の進路について考えさせ、これまでの実習を振り返り、改善点を話し合わせる。 ・ 3年生には現実的な話し合いをさせる。		・先輩が働いている写真 ・VTR ・学習計画表 ・地図	職 5-34 道 2-(1) 社 4-16 生・社 3-1
2 現場実習の心構えについて話し合う。 ・ 実習の意義や目的 ・ 実習先、就労時間、実習期間、仕事内容		・ 1・2年生には将来の職業について自由に話し合わせる。 ・ 職場の生活について調べさせる。 ・ 就労時間、仕事内容等を調べさせ、学校生活と違った職場の生活を考えさせる。			国 5-4 社 5-24 25
3 現場実習へ向けての準備と練習をする。		・ 通勤方法について調べさせるとともに余暇を利用して練習させる。			社 4-23 社 5-16 職 5-33

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(1) 実習日誌を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日誌の記入、提出の仕方 受け取り方 <p>(2) 作業服の着脱、持ち物の整理をする。</p> <p>(3) 職場でのマナーやあいさつの の交わり方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業場での届けや報告 電話連絡の仕方 体調を崩したときの処理 の仕方（遅刻、欠勤） 職場での昼食、休憩、帰 宅後の余暇活用の仕方 <p>4 実習壮行会について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意義と目標 実習先、仕事内容、実習目 標 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 実習壮行会をする 現場実習をする </div> <p>5 現場実習の反省をする。</p> <p>(1) 反省と報告会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日、会場等の確認 日誌の整理と発表練習 <p>(2) 報告会をする。</p> <p>(3) 実習先にお礼状を書く。</p> <p>6 校内実習について話し合う。</p> <p>(1) 計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意義と目標 期間、内容、仕事分担 作業場、材料の準備点検 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> 校内実習をする </div> <p>(2) 校内実習の反省をする。</p> <p>7 職場の生活についての反省を する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回の実習の反省を生かした日誌の使 い方や、提出の仕方などを通して実習へ の意欲を持たせる。 職場での更衣室（時間内での更衣）、 休憩室などの正しい利用の仕方（整理整 とん）について気付かせる。 事業所等での職場の一日の流れを模擬 的に取り扱い職場での対処の仕方につい て分からせる（場に応じた礼儀作法）。 職場では仕事をするだけではなく、周 りの人々と協調すること（触れ合いを通 じた余暇の活用）も大切であることを分 からせる。 帰宅後の余暇活用を工夫させる。 前回の実習の反省を生かした発表内容 を用紙に整理させて、一人一人に決意を 述べさせ、意欲的に取り組ませ、自己の 役割意識を高めさせたり、自己表現を豊 かにさせたりする。 現場実習の評価、反省を校内実習で改 善していくようにさせる。 日誌や写真などを基にして、職場で経 験したことや反省点などをまとめさせる。 良かった点を激励し、意欲を持たせる。 感謝の気持ちを込めた手紙を書かせる。 現場実習での課題解決に向けた実際の 職場の形態に近い雰囲気、できるだけ 生徒たちに自主的に運営させる。 仕事をしながら生活をすることの厳し さや楽しさを知らせるとともに、卒業後 の社会生活自立に向けた反省をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌 作業服 作業帽子 タイム カード 模擬電話 10円玉 テレホン カード 発表用紙 作業服 作業帽子 巡回記録 簿 実習日誌 写真 V T R 便せん封 筒、切手 学習計画 表 出来高表 社訓 日程表 実習日誌 V T R 原稿用紙 	<p>国 4-16</p> <p>生・基 3-28, 34</p> <p>職 4-43</p> <p>道 2-(1)</p> <p>国 5-8, 9</p> <p>職 5-25 38 50</p> <p>職 5-4</p> <p>国 5-18</p> <p>職 5-36</p> <p>道 2-(1)</p> <p>道 4-(4)</p> <p>国 3-8 5-4</p> <p>職 5-32</p> <p>国 4-16</p> <p>職 5-31, 36, 40</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・社 3-21～26</p> <p>職 5-50</p> <p>国 5-4</p>

高等部 全学年

単元名	暮　　れ　　の　　街	20時間	12月
単元について	<p>暮れの街は、年末の買い物や新年の準備のために忙しく動きまわる人々の姿が見られるときであり生徒たちにとってもこの時期の季節的な変化や行事を学習したり、実際に暮れの街の様子を見学して買い物をしたりするのにふさわしい場である。</p> <p>しかし、生徒たちは年末に伴う商店街のはでな人目を引く装飾や新聞広告など見てはいるが、はっきりと何を意味しているのか気がついていなかったり、この時期にプレゼントを買ってもらってはいるものの、自分から街に買い物に行ったりするという態度は見られない。これは、まだはっきりと年末の時期的な特徴、正しい金銭の取り扱い方、交通機関の利用方法をよく理解していないためであり、さらには、自ら欲しい物を選んだり、決めたりする経験が少ないためと考える。</p> <p>そこで、本単元においては、年末の街の様子をVTRや広告紙等で学習したり、実際に見学したりすることを通して、この時期の街や人々の様子や変化に気づかせる。そして、学年を解いて班ごとに交通機関や見学コースの計画を立て、実行させながら自主性、強調性、責任感を養っていく。さらに作業学習などの益金を一人一人に与え、これを自分で計画を立てたり、予算の範囲内で買い物をしたりすることで正しい金銭の取り扱い方が分かり、今後の消費生活にも興味を持つことができると考える。</p> <p>これらの学習を通して、より積極的に社会生活に参加しようとする態度を養うことができると考える。</p>		
目標	<p>○ 暮れの街の見学の計画を立てさせ、実際に見学することで時期的な変化や特徴を知るとともに買い物に興味を持たせる。(1年)</p> <p>○ 暮れの街の見学の計画を自主的に計画し、実際の街の様子の見学に積極的に参加することで、時期的な変化や特徴が分かるとともに、正しい金銭の取り扱い方ができるようにする。(2, 3年)</p>		
主な学習活動・内容	留　　意　　点	準　　備	関連内容
1 暮れの街の様子を学習する。 (1) 昨年の暮れの街の見学様子を思い出す。 ・ 場所 ・ 買い物 ・ VTR (2) 今年の暮れの街の見学の計画を話し合う。 ・ 内容、期日、日程 ・ グループ編成 ・ 準備	<ul style="list-style-type: none">・ 身近な時期的な変化に気づかせる。・ 1年生は、VTRや広告によって年末の街の様子を知らせ、2, 3年生は昨年の経験を基に話し合いを順調に進めさせる。・ 昨年や今までの経験、体験を全員に思い出させ意欲的に発表させる。・ グループ活動で行い2, 3年生は1年生をリードすることを自覚させる。・ できるだけ、生徒同士で自主的に話し合いをさせる。	<ul style="list-style-type: none">・ 広告紙(チラシ)・ 地図・ VTR・ 日程表・ グループ編成表	国 5-1 5-4 道 1-(1) 国 5-6 社 5-5 5-6 生、決 3-4 道 1-(3)

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> 忘年会（昼食会） <p>2 各グループに分かれて計画、話し合いをする。</p> <p>(1) 見学、買い物の仕方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 係 場所 交通手段（バス、電車） 買物・お金（品目） <p>(2) 忘年会の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出し物（忘年会） <p>3 準備、練習をする</p> <p>(1) 交通機関の乗り方を調べる。</p> <p>(2) 買い物の練習をする。</p> <p>(3) 出し物の練習をする。</p> <p>4 暮れの街に出かける。</p> <p>(1) 交通機関を利用する。</p> <p>(2) 街の見学をする。</p> <p>(3) 買い物をする。</p> <p>(4) 忘年会（昼食会）をする。</p> <p>5 暮れの街の反省をする。</p> <p><グループ別></p> <ul style="list-style-type: none"> 街や買い物の様子 <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 今年一年間の反省、作業学習の慰労や来年への意欲を持たせるために忘年会を催すことを知らせる。 班長、副班長を中心としてできるだけ生徒同士で話し合わせる。 市内地図、バスの路線図を使用して自主的に調べさせる。 ボーナス支給の範囲での買い物に注意させ無駄の無いように計画を立てさせる。 バスや電車の正しい乗り方や車内でのマナーを学習させる。 模造貨幣を使用して買い物のときに必要な支払い方法や応答の仕方を練習させる。 ルールやマナーを守り、周りに迷惑をかけないように注意させる。 街や人々の様子に気を付けさせる。 品物の選択や、お金の支払いはいはできるだけ自分の力でさせる。 忘年会に参加し、一年間の反省や思い出、来年への意欲を話し合わせる。 VTRを見て、暮れの街の時期的な特徴やお互いの交通機関の利用の仕方や買い物の態度を話し合わせる。 一人一人買った品物や値段を全員の前で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ編成表 市内地図 バス路線図 模造貨幣 VTR レシート 	<p>生、役 5-2</p> <p>道 4-(1) - (4)</p> <p>生、交 3-1</p> <p>道 1-(3)</p> <p>生、金 3-1</p> <p>生、公 3-2</p> <p>数 5-10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>音 6-4</p> <p>道 1-(1)</p> <p>生、公 3-2</p> <p>生、金 3-1</p> <p>2</p> <p>数 5-10</p> <p>道 1-(1)</p> <p>社 5-16</p> <p>19</p> <p>生、金 3-3</p> <p>数 5-5</p> <p>道 4-(4) 2-(1)</p> <p>音 5-5</p> <p>6</p> <p>国 4-1</p> <p>道 1-(5)</p>

単元名	公共施設の利用	18時間	1月
単元について	<p>生徒たちは、卒業後それぞれ何らかの形で働くことになる。しかし、その一方で、公共の交通機関を利用し、街へ買い物に行ったり、興味ある催し物に出かけたり、必要に応じて役所や金融機関を利用するなど、いろいろな公共施設とかわりを持ちながら生活していくことになる。このように職場以外にも、それぞれより広く社会にかかわっていくことは大切なことである。</p> <p>この時期の生徒たちは、自分の卒業後のそれぞれ意識してきており、身近な公共施設の利用への興味、初歩的な社会の仕組みの理解への欲求、地域社会や芸術、文化への興味なども生まれてきている。しかし、自分から進んで、いろいろな公共施設を利用しようとする生徒は少ない。さらに、必要な力（金銭の計画的な使い方、交通機関の利用の仕方、集団への参加能力など）も、まだ不十分である生徒が多い。</p> <p>このことから本単元では、いろいろな公共施設の利用の仕方を身に付けさせ、積極的に社会にかかわる力を養うことをねらいとする。そこで、公共施設の利用のマナーや必要な金銭の取り扱いなどを調べたり、実際に利用したりする活動を通じて、その働きを知り、利用の仕方や目的に応じて積極的に利用しようとする態度を身に付けさせる。また、いろいろな公共施設に対する興味・関心や、経験などを考慮して、学年を解いた班を編成し、これらの活動を班ごとに進めていくことで、集団でのかかわりを促し、積極的に集団に参加する態度も身に付けさせていく。</p> <p>これらの学習を通して、いろいろな公共施設を進んで利用できるようになり、現在及び卒業後の生活において、より広く社会にかかわるようになることが期待できる。</p>		
目標	<p>○ 役所や劇場、金融機関など、いろいろな公共施設の利用の仕方を知り、友達と一緒にこれらの施設を見学・利用することで、公共施設のいろいろな働きに対する興味・関心を高める。（1年）</p> <p>○ 友達と協力しながら計画を立て、役所や劇場、金融機関など、いろいろな公共施設を見学・利用することで、これらの施設の目的に応じた利用の仕方を身に付けさせ、積極的に利用しようとする態度を育てる。（2，3年）</p>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1 いろいろな公共施設について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っている公共施設 利用の経験 利用したい公共施設 <p>2 公共施設の利用の計画について調べる。</p> <p>(1) 期日や主な活動について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年生は、家や学校の周りの公共施設に気付かせ、2，3年生は昨年までの経験を生かして話し合わせる。 いろいろな公共施設のVTRを見せ、行ってみたい場所のアンケートをとり、班編成をする際の参考資料にする。 昨年度の様子VTRを見せ、これまでの経験を思い出させ、意味を高める。 当日の活動は、学年を解いた班で行うことを知らせ、経験のある2，3年生が1年生をリードすることを自覚させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内地図 パンフレット VTR アンケート用紙 VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 国 5-4 社 4-3 国 5-7 社 4-14 社 4-19 社 4-20 社 5-8 国 5-3

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 班編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長、副班長の決定 <p>3 班ごとに計画を立てる。</p> <p>(1) 計画について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用施設の決定 ・ 道順 ・ 利用交通機関 ・ 必要なお金 <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担 ・ 公共施設の利用のマナー ・ 必要なお金の取り扱い <p>4 公共施設を利用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防署、警察署、郵便局、銀行、市役所、専門店、デパート、劇場、新聞社、放送局、職業安定所、福祉センター などを中心に <p>5 公共施設の利用の反省をする。</p> <p>(1) VTRを視聴する。</p> <p>(2) 班ごとに反省する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マナーや利用の仕方 ・ 自分の役割 ・ 感想 など <p>(3) 全体で反省する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成では、生徒の希望を尊重し、経験差やリーダー性も考慮して編成する。 ・ 班長、副班長としての役割を説明し、リーダーとしての意識を高めさせる。 ・ 班長、副班長を中心に話し合わせ、できるだけ生徒自信で話し合い活動を進められるようにする。 ・ 市内地図や路線図、時刻表などを用いて、これらの利用の仕方を分からせる。 ・ 必要なお金については、各自のお年玉から準備することを知らせ、金銭の計画的な使い方や金融機関の利用についても考えさせる。 ・ 係分担やマナーについては、班長、副班長を中心に話し合わせ、できるだけ生徒自身で話し合い活動を進められるようにする。 ・ 金融機関の利用や必要なお金の支払いなど、実際に近い場面を設定し、演じさせることで、自分の係や利用の仕方、マナーを具体的に分からせる。 ・ 日程を調整し、できるだけいろいろな公共施設を見学・利用できるようにする。 ・ いろいろな公共施設を利用する際に必要なお金の支払いや、窓口などでの人とのやりとりなど、できるだけ生徒自身の力で遂行できるようにする。 ・ 係や利用の仕方、マナーなどについて顕著に現れている場面を編集しておく。 ・ 役割演技などの具体的な活動によって楽しかったことや、進んでできたことを思い出し、発表させることで、今後も積極的に、いろいろな公共施設を利用する意欲を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班編成表 ・ 名前カード ・ カード ・ 市内地図 ・ 路線図 ・ 時刻表 ・ 通帳など ・ カード ・ 係分担表 ・ 模造貨幣 ・ 預入票 ・ 預払票 ・ 通帳など ・ 貨幣 ・ 通帳など ・ VTR ・ パンフレット ・ カード 	<p>道 4-(1)</p> <p>社 5-6</p> <p>社 5-5</p> <p>道 1-(3)</p> <p>数 5-6</p> <p>国 5-13</p> <p>社 5-25</p> <p>社 4-29</p> <p>家 5-48</p> <p>～50</p> <p>社 5-6</p> <p>社 5-8</p> <p>社 5-10</p> <p>国 5-14</p> <p>数 5-2</p> <p>数 5-10</p> <p>道 4-(2)</p> <p>数 5-3</p> <p>社 5-1, 2, 8, 14</p> <p>～16, 18</p> <p>～20</p> <p>職 5-42</p> <p>道 2-(1)</p> <p>道 2-(3)</p> <p>国 5-4</p> <p>国 5-18</p> <p>道 1-(5)</p> <p>道 4-(2)</p> <p>職 5-50</p> <p>家 5-44</p>

単元名	地 域 と の 交 流	20時間	2月
単 元 に つ い て	<p>3年生は卒業、1、2年生は次の学年に進級を間近に控え、生徒同士のかかわり合いも徐々に増え、学校の一員として自覚も高まりつつあるこの時期に、身近な地域社会に目を向けさせたり、同年代の仲間との交流活動を行うことで経験を拡大し、お互いの理解を深めたりすることによって、自分も地域社会の一員であることを認識し、地域社会にかかわる態度を育成することは生徒たちにとって大変意義深い。</p> <p>生徒たちは、日ごろから生活の大半を学校と家庭で過ごすことが多く、地域の行事に積極的に参加したり、自らかかわったり、相手の立場に立って考えて、行動したりするという態度は見受けられない。また、学校の仲間や兄弟、姉妹以外の同年代の仲間との交流はほとんど経験がない。</p> <p>そこで本単元は、施設の訪問活動を通して地域の人々との触れ合いを深め、心を込めた手作りの贈り物をプレゼントするなど、相手を思いやる心や譲り合う心を育て、さらに、交流会の練習や準備を分担することで責任感や強調性を養うことができる。また、同年代の仲間との交流活動を通してかかわり合う体験を広げ、お互いの理解を深めることができ、さらには、交流のあった人々を学習発表会に招待することで、自信を持って表現活動に取り組む態度や学校の中の一員としての自信を理解してもらうこともできると考える。</p> <p>このような活動を通して、奉仕的な経験を拡充し、地域社会へのより積極的なかかわりを促すことができ、生活をより豊かにし、さらに社会生活へも目を向けることができる。</p>		
目 標	<p>○ 施設訪問の美化作業、同年代との交流会、学習発表会での触れ合いを通して地域の人々とかかわり合う体験を広げ地域へ目を向けさせる。（1年）</p> <p>○ 施設訪問の美化作業、同年代との交流会、学習発表会での触れ合いを通して経験を広めるとともに相手の立場に立った豊かな心を育てる。（2、3年）</p>		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>1 今までの交流会を思い出す。</p> <p>(1) 昨年のVTRを見る。</p> <p>(2) 昨年の写真を見る。</p> <p>(3) 昨年のプレゼントを見せ合う。</p> <p>2 交流会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設訪問 高校生との交流 学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> これまでのVTRを視聴させ交流会の内容を理解させる。（1年） これまでのVTRや写真、交換しあったプレゼントなどを基に交流会の様子を思い出させる。（2・3年） VTRや写真、パンフレットなどを基に交流先の様子を調べさせお互いの気持ちや態度を話し合い、交流への見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 去年のプレゼント VTR 写真 パンフレット 	<p>国 4-1 5-4</p> <p>道 2-(2) 4-(4)</p> <p>社 5-5 5-9 5-26</p> <p>道 2-(1) 4-(1) -(4) -(6)</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>3 交流会の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設訪問 高校 学習発表会 <p>(1) 期日や日程を調べる。</p> <p>(2) 交流内容を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 期日や日程などはあらかじめプリントしておき計画を立てやすくしておく。 これまでの交流内容を基に自主的に計画を立てさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 計画表 	<p>国 4-15</p> <p>国 5-6</p>
<p>4 交流会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設訪問 高校 学習発表会 <p>(1) 作業やプレゼント製作、発表練習の計画を立てる。</p> <p>(2) 班編成をする。</p> <p>(3) 製作や練習をする。</p> <p>(4) 案内状を書く。</p> <p>(5) 学習発表会のオリエンテーションで係を決めたり日程を確認したりする。</p> <p>(6) 道具の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2, 3年生をリーダーに立て、去年の活動を基に、当日までの日程を考えさせる。 生徒たちの話し合いを基に製作や準備の班編成をさせ、他領域・教科との関連を図りながら製作と練習を行わせる。 役割分担をしたり、共同作業をしたりしながら、一人一人の能力に応じた活動をさせる。 当日の日程に合わせて実際の活動内容や方法を練習させる。 集団の中での役割を意識させながら活動に参加させる。(1年) 望ましい言動や態度で主体的に活動できるようにマナーについても指導する。(2・3年) 今まで交流した人を発表会に招待する。 招待した人々を案内したり、接待したりする。 望ましい態度で参加できたかどうか反省させ、地域社会の一員として進んで活動することの大切さについて話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼントの材料 劇や合奏合唱の道具類 プレゼント 作業用具 	<p>数 5-5</p> <p>道 1-(3)</p> <p>社 4-5</p> <p>職 5-11</p> <p>道 4-(1)-(4)</p> <p>音 5-6</p> <p>美 3-8</p> <p>道 1-(3)</p> <p>国 5-5</p> <p>5-8</p> <p>道 2-(1)-(2)-(3)-(4)</p> <p>社 5-1</p> <p>国 4-4</p> <p>4-19</p> <p>5-23</p> <p>道 2-(2)-(3)</p> <p>社 5-4</p> <p>道 4-(1)-(9)</p>
<p>5 交流会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設訪問 ・高校 <p>(1) 奉仕活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 美化作業 <p>(2) レクリエーションをする。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習発表会に参加する</p> </div>			
<p>6 交流会の反省をする。</p> <p>(1) 反省会をする。</p> <p>(2) 手紙を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 便箋 封筒など 	

高等部 1 学年

単元名		もうすぐ進級 I		1 2 時間 3 月上旬～3 月中旬	
単 元 に つ い て	<p>進級を間近にした生徒たちにとって、これまでの一年間を通して学校生活を振り返り、思い出や反省を発表させながら自己の成長を振り返らせ、卒業していく 3 年生や 2 年生との友情を深め仲間意識を育てることができるよい時期である。さらに、新しく入学してくる新入生を迎えるため、上級生になる自覚や抱負を持たせることができる時期である。</p> <p>しかし、1 年生ということもあり上級生からかわられることが多く、高等部全体での活動や学年を解いた活動を通して、友達や上級生へ積極的にかわっていかうとする様子は少ない。また、自分から積極的にかわっていても一方的であったり、パターン化されていたりすることが多く見られ、自己の役割を意識して、協力して活動しようとするはまだ少ない。</p> <p>そこで、一年間の学習の様子を VTR やアルバムで確認させ頑張ったことや楽しかったことなどを発表させたり、思い出文集に書かせたりすることで自己の成長を振り返り、3 年生との友情を深めさせる。また、思い出文集を作り 3 年生に送ったり、お別れ会を運営したり、卒業式に参加したりすることを通して、3 年生との友情を深め仲間意識を育てさせる。卒業式に参加させることで 3 年生を温かく送る気持ちを持たせていく。さらに、4 月には新入生を迎えて自分たちが 2 年生になるという自覚を持たせていく。</p> <p>このような活動を通して、学級内での活動はもとより学部全体での活動の中でかわりを広げていくことができ、文集作りやお別れ会を通して上級生と協力することや 3 年生に思いやりを持って接することができるようになると思う。</p>				
	<p>○ 一年間の行事の反省を通して自分自身や友達の成長に気付かせ、進級する喜びや希望について話し合わせることで、2 年生と協力する態度を育て新年度への心構えを持たせる。</p> <p>○ 思い出文集作りやお別れ会で 3 年生との交流を深め、卒業を祝う気持ちを育てる。</p>				
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点		準 備	関連内容
1 一年間の反省をする。 ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理		・ 年間の行事を VTR や写真などで振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど、思い出深いことを発表させる。 ・ 身長や体重などの身体的な成長についてもグラフなどで確かめさせる。		・ VTR ・ 写真 ・ 目標カード	道 1-(2) 道 1-(5)
2 文集作りをする。 (1) 内容を決める。 (2) 形式を決める。 (3) 原稿を書く。 (4) 原稿を集める。 (5) 編集・製本する。		・ 2 年生と協力して、内容や形式を決めさせ、3 年生への原稿依頼をさせる。 ・ 編集や製本など自主的に取り組ませるようにするが、2 年生の指示を守って活動させる。		・ 成長記録カード ・ 思い出文集 ・ 原稿用紙 ・ 製本テープ	国 4-15, 16, 18 国 5-18, 24 道 4-(1)

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) 日時, 場所, 内容について話し合う。</p> <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担 ・ レクリエーション ・ プレゼント準備 <p>(3) お別れ会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバムなどを見ながら, 内容を決めさせ, 頑張ったことや楽しかったことなど, 国語科との関連を図りながら指導していく。 ・ 進級に当たっての考えや, 卒業生に対する感謝の気持ちなども含めて書かせる。 ・ 準備から後片付けまで活動させる中で仲間意識を高め, 自分たちが高等部の中心として活動していかなければならないことに気付かせる。 ・ 2年生と協力して係を分担させる。 ・ 卒業生が気持ちよく楽しい時間を過ごせるように準備しなければならないことを知らせ, 感謝の気持ちを育てる。 ・ レクリエーションやプレゼントなど自分たちで練習や準備をさせることで仲間意識を高める。 ・ 礼の仕方や椅子の掛け方などを中心に練習させ, 卒業式の持つ厳粛な雰囲気を感じさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホッチキス ・ アルバム ・ プレゼントの材料 ・ レクリエーションの道具 ・ プレゼント ・ 掃除用具 	<p>道 2-(2)</p> <p>国 5-5</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2 ~4</p> <p>道 2-(1)</p> <p>道 2-(2)</p> <p>道 2-(3)</p> <p>音 5-8,</p> <p>生・決 3-4</p> <p>道 2-(1)</p> <p>道 2-(2)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>生・手 3-5</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 4-(3)</p> <p>道 4-(4)</p> <p>道 4-(6)</p>
<p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">卒業式に参加する</div>			
<p>5 新年度の準備をする。</p> <p>(1) 教室の整理をする。</p> <p>(2) 新年度の抱負を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年間使った教室を感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除させる。 ・ 次年度は新入生を迎え, 先輩として下級生をリードしていかなければならないことに気付かせ抱負を考えさせる。 		

単元名	もうすぐ進級 II	1 2 時間	3 月上旬～3 月中旬	
単元について	<p>進級を目前にした生徒たちにとっては、高校生活 2 年間を終えて最後の 1 年間を学校全体のリーダーとして有意義に、意欲的に過ごすためにはどのようにしたらよいか考えるよい時期である。また、自分自身の成長を確かめ 3 年生に対して感謝の気持ちを持たせ、卒業を喜び合うことができ、新年度に向けて新たな心構えを持たせるよい時期でもある。</p> <p>しかし、学部の行事の中では、友達や上級生（3 年生）の助けを借りてリーダーとしてかかわることができても、学校全体の前でリーダーとしてかかわって行かなければならない場面ではまだ十分に自己を表現したり、役割を意義してかかわったりすることは少ない。また、年間の行事の反省を通して自分や友達の成長を確かめ合ったり、卒業を喜び、3 年生に感謝の気持ちを持って接したりしようとする態度は十分とは言えない。さらに、新年度の目標を考える機会も十分ではない。</p> <p>そこで、今までの作品の整理をし、作文や絵にまとめ、思い出文集を作らせることで自分や友達の成長を確かめさせる。さらに、思い出文集を 3 年生に送ったり、お別れ会を企画・運営したりすることで、3 年生との友情を深め仲間意識や感謝の気持ちを育てる。また、卒業式に参加したり新年度の準備をしたりすることを通して、次年度の自分自身の生活や、卒業後の生活にも目を向けさせていく。</p> <p>このような活動を通して、友達とのかかわりを更に広げていくことができ、文集作りやお別れ会を通して下級生をリードしながら、卒業していく先輩に感謝の気持ちを持ち、最上級生になる心構えを持たせることができると考える。</p>			
目標	<p>○ 一年間の反省や思い出文集作りを通して自分自身や友達の成長を確かめさせ、進級する喜びを味わわせ、最上級生として活動しようとする意欲を育てる。</p> <p>○ 下級生と協力して思い出文集を作ったり、お別れ会を企画・運営したりすることで、3 年生との交流を深め、卒業を祝うことができるようにする。</p>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備	関連内容
1 一年間の反省をする。 ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理		・ 年間の行事を VTR や写真などで振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど、思い出深いことを発表させる。 ・ 身長や体重などの身体的な成長についてもグラフなどによって確かめさせる。	・ VTR ・ 写真 ・ 目標カード	道 1-(2) 道 1-(5)
2 文集作りをする。 (1) 内容を決める。 (2) 形式を決める。 (3) 原稿を書く。 (4) 原稿を集める。 (5) 編集・製本する。		・ 1 年生と協力しながら、前年度の思い出文集を基に内容や形式を決めさせ、原稿依頼をさせる（3 年生、先生、保護者など）。 ・ 編集や製本など 1、2 年で協力させ、仲間意識や、リーダー性を高めていく。	・ 成長記録カード ・ 思い出文集 ・ 作文用紙 ・ 製本道具	国 4-15, 16, 18 国 5-18, 24 道 4-(1)

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) 日時、場所、内容について話し合う。</p> <p>(2) 準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 係分担 レクリエーション プレゼント準備 <p>(3) お別れ会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アルバムなどを見ながら、楽しかったことや頑張ったことなどを、国語科との関連を図りながら指導する。 進級に当たっての決意や卒業生との思い出、感謝の気持ちなどを含めて書かせる。 準備から後片付けまで責任を持って活動させることで、最上級性としてこれから活動していかなければならないことに気付かせる。 1年生にも係分担させ協力させる。 卒業生にとって気持ちよく、楽しい時間が過ごせるように準備しなければならないものがないか考えさせ、感謝の気持ちを育てる。 レクリエーションやプレゼントなど話し合いを通して練習、準備の計画を立てさせ自主的、積極的な態度を育てるとともに、協力する態度も高めていく。 礼の仕方や椅子の掛け方、送る言葉、卒業式の歌などの練習を、国語科や音楽科との関連を図りながら練習させ、卒業式の持つ厳粛な雰囲気を感じさせ、卒業生に感謝する気持ちを持たせるとともに、進級に対する心構えを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルバム プレゼントの材料 レクリエーションの道具 カセット 	<p>道 2-(2)</p> <p>国 5-5 生・交 3-4 生・役 3-2~4 音 5-8, 9, 10 道 2-(1) 道 2-(2) 道 2-(3)</p> <p>生・決 3-4 国 5-6 道 2-(1) 道 2-(2) 道 4-(1)</p> <p>生・手 3-5 道 4-(1) 道 4-(3) 道 4-(4) 道 4-(6)</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">卒業式に参加する</div> <p>5 新年度の準備をする。</p> <p>(1) 教室の整理をする。</p> <p>(2) 新年度の抱負を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最上級生の役割 	<ul style="list-style-type: none"> 一年間使った教室を感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除させる。 次年度は最上級生として学校全体をリードしていかなければならないことに気付かせ、抱負を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除用具 	

単元名	もうすぐ卒業	1 2 時間	3 月上旬～3 月中旬	
単元	<p>卒業生にとって3月は、卒業を目前にして、事業所や作業所、施設など進路はそれぞれ違っていても、学校生活を終え新しい世界に旅立っていく時期であり、いままでの学校生活について落ち着いて振り返らせたり、新しい生活について考えさせたりするよい時期である。</p> <p>しかし、卒業は自己の成長を確かめるよい時期であるにもかかわらず、新しい世界への期待や不安で落ち着いて学習に取り組めず、自己の成長を確かめ感謝の気持ちを持ったり、社会人としての言葉遣いや身振りの整え方、問題などに対処するための手だてを身に付けることが困難である。</p> <p>そこで、アルバムや作品の整理を通して卒業文集の原稿としてまとめさせることで自分自身や友達の成長を確かめさせ、今まで自分にかかわってくれた人に感謝の気持ちを持たせる。また、職場での言葉遣いや身だしなみ、休日の過ごし方など、卒業後の生活について考えさせることで社会人としての心構えを持たせる。さらに、同窓会や青年学級、同期会などについて知らせることで、既に卒業した先輩たちについて知り卒業後の結び付きを強めさせる。基本的には学級集団での学習を中心にするが、お別れ会や卒業式などを通して下級生や小学部、中学部の児童・生徒ともかかわり合える場を設定することで、大きな集団での活動も大切に、自分が育った学校という意識を持たせ、愛校心を育てていく。</p> <p>このような学習を通して、学校生活のまとめをし、感謝の気持ちを持って卒業することができるようになり、学校生活を終えて社会人として新たに出発していく意欲を持たせることができる考える。</p>			
目標	<p>○ これまでの学校生活を振り返りアルバムや作品の整理をしたり、思い出文集を作ったりすることで、自己の成長を確かめさせ、感謝の気持ちを持って友達や保護者に接する態度を育てる。</p> <p>○ 卒業を喜び、社会人としての自覚を持って生活していこうとする態度を育てる。</p>			
主な学習活動・内容		留意点	準備	関連内容
1 三年間の反省をする。 ・ 行事の反省 ・ 目標の反省 ・ アルバム、作品の整理		・ VTRや今までのアルバムなどで高等部の生活を振り返り、頑張ったことや楽しかったことなど思い出を発表させる。 ・ 身体的な成長についてもグラフなどで確かめさせる。 ・ アルバムの整理では、仕上げを一部残しておき自分たちの手で説明文などをはらせるようにする。	・ VTR ・ アルバム ・ 目標カード ・ 成長記録カード	道 1-(2) 道 1-(5) 道 2-(1) 道 2-(2)
2 文集を作る。 (1) 内容を決める。 (2) 原稿を書く。		・ 思い出文集の内容や形式などを後輩から聞き、思い出を文集に書き込ませる。 ・ アルバムなど見ながら、思い出深いものを選ばせる。	・ 思い出文集 ・ 製本道具	国 4-15, 16, 18

主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>(3) 製本する。</p> <p>3 社会人になる準備をする。</p> <p>(1) 卒業後の生活について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路 ・ 心構え ・ 言葉遣い ・ 身だしなみ <p>(2) 卒業後の結び付きを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会 ・ 青年学級 ・ 同期会 <p>4 卒業の準備をする。</p> <p>(1) お別れ会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レクリエーション ・ プレゼント準備 ・ お礼の言葉 <p>(2) 教室の整理をする。</p> <p>(3) 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心構え ・ 別れの言葉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">卒業式に参加する</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業に当たっての考えも書かせるようにする。 ・ 一人一人発表させ、卒業後の進路に自覚を持たせる。 ・ 職場の上司や友達など実際の場面を想定しながら考えさせる。 ・ 交通ルールやエチケットなども含めて周りの人に、不愉快な思いをさせないようにするためにはどうしたらよいか考えさせる。 ・ 既に卒業した先輩たちについて知らせ、卒業後の休日の過ごし方や同窓会などの組織について知らせることで、卒業後の結び付きを強め、愛校心を育てる。 ・ レクリエーションやプレゼントなどを準備し感謝の気持ちを伝えさせる。 ・ 礼の仕方や椅子の掛け方、別れの言葉 卒業式の歌などの練習を、国語科や音楽科との関連を図りながら練習させる。 ・ 卒業式の練習や、教室の整理を通して今までにお世話になった人たちや教室、学校に感謝の気持ちを持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバム ・ 進路カード ・ 背広 ・ スーツ ・ 化粧品 ・ 同窓会の V T R ・ 青年学級の V T R ・ 掃除用具 ・ プレゼント 	<p>国 5-18, 24</p> <p>道 2-(2)</p> <p>保健 5-1, 5</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・基 3-27, 28, 35</p> <p>道 4-(1) ~ (4)</p> <p>社 5-7</p> <p>職家 5-50, 51</p> <p>国 5-5</p> <p>道 2-(1) ~ (4)</p> <p>生・交 3-4</p> <p>生・役 3-2~4</p> <p>音 5-8, 9, 10</p> <p>道 2-(1) (2)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>国 5-6</p> <p>職家 5-36</p> <p>道 4-(3) ~ (7)</p>